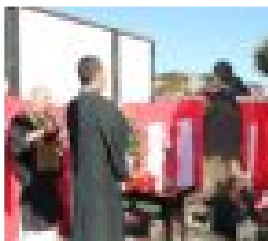


第13回 砂村新左衛門祭

平成22年12月11日(土)

久里浜、横須賀の発展に欠かせない人物、砂村新左衛門。
夫婦橋にある石塔をご存知でしょうか？



砂村新左衛門祭とは...

壮年時代に諸国を遊歴して、広く土宜産業を視察し、幕府の命を受け諸方へ出掛け農業、林業などの指導をした。

〔土宜...その土地に適した農作物。その地味に合う作物。〕
また、その土地の作物。その土地でできるもの。〕

幕府の命で横浜市の野毛に新田を開き、ついで、万治3年(1660年)から8年の歳月をかけて内川新田を開発した。開発に当たっては辛うじて開きかけた土地を三条の川(佐原川・大川・吉井川)

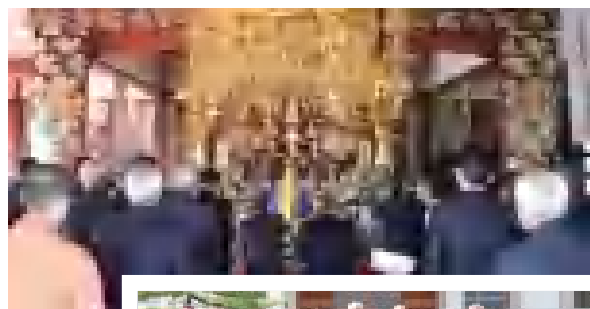
に埋められ、流され、荒波の為にさらわれて、数ヶ月の勤労が水の泡と消えた事が度々あった。

完成当初は360石(1石は180^匁)の米の収穫が上がった。

続いて東京都江東区砂村新田を開発した。

砂村家のお墓が久里浜の正業寺にあり子孫が墓守をしていたが、H18年に亡くなられた。

新田完成記念の「門樋成就記念碑」が夫婦橋の袂におかれている。寛文7年(1667年)12月15日に没したので直近の12月の土曜日には、この記念碑前と墓石のある正業寺にて読経がおこなわれる。



久里浜行政センター